

・児童祝福式 11／13（日）

第2礼拝後

お子様の成長の祝福を祈らせていただきます。希望する方は牧師または管理部までお申し込みください。

## 【クリスマスに向かって】

■宣教師へのクリスマスカードに署名サインの協力をお願いします！

宣教師と、チャイルドスポンサーとして支援している子どもたちへ送るクリスマスカードです。すでに多くの兄弟姉妹にお名前のサイン・署名のご協力をいただき感謝します。私たちの祈り心を届けましょう。

Iの報告出席 37名（講師・他教会2含む）、

YouTube同時視聴 16組

バウンダリーとはなにか？から始まり、家庭・職場・学校での人間関係だけではなく、神様と私たちとの関係や信仰・奉仕にもバウンダリーが大切であることを気づかされました。

本日、学び会IIがあります。

ご参加ください。

本日は13時半からです。

## ■クリスマス特別賛美

練習 11／6（日）13時～14時  
・6日の練習に出席できなくとも特別賛美に加わることができます。

## \*参加希望の申込先

## \*賛美収録日

11／27、12／4

「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」

No.31 2022・10・30

## ルカの福音書 11章1節

外なる祈りとは、他の教会とその人々のために祈ることである。この内と外の緊張關係が公同的祈りを可能にする。

祈祷書について簡単に説明する。

祈祷書は、公同体の祈りの言葉としての位置づけである。自由祈祷は、個々の人の言葉による。しかし、祈祷書は公同体の祈りの言葉である。祈祷書の洗練された祈りの言葉も大切にし、継承したいものである。

パウロは、「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」（ローマ12章15節）、「そこで、まず初めにこのことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高

【注】本日の巻頭言は、渡辺俊彦先生の著書からの引用です。

教会は「どりなしの共同体」である。主日礼拝で執り行われる「どりなしの祈り」は「祭司的機能」を持つている。

パウロは、「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」（ローマ12章15節）、「そこで、まず初めにこのことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高

H. テイリケは公同的祈りについて「世界を包む祈り」と表現している。教会は、内と外に向かう両輪の祈りが大切である。内なる祈りとは教会員のために祈ることである。

（引用元）「神学生生活入門」

渡辺俊彦

イーグレープ 2005年

